

2025 年 12 月 3 日

消化器内科に、過去に通院・入院された患者さんへ

(臨床研究に関する情報)

当施設では、下記の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。この研究は、厚生労働省・文部科学省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年3月23日制定、令和5年3月27日一部改正。)に従って実施しています。この研究に関するお問い合わせや、診療情報をこの研究に利用することにご了承いただけない場合は、下記の連絡先・相談窓口へご照会ください。診療情報の利用にご了承いただかなかった場合でも、それが理由で不利益を受けることはありません。

この研究は、香川大学医学部倫理委員会承認されています。また、香川大学医学部長より実施の許可を受けています。

〔研究課題名〕 当院における EUS-HGS の治療成績を検討し、処置の成功率や偶発症等、患者に与える影響を調べる後ろ向き研究

〔研究組織〕 香川大学医学部附属病院 消化器内科 病院助教 藤田直樹

〔研究の目的〕

十二指腸狭窄や術後再建腸管を有するために、通常の内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)によるドレナージ術が施行できない患者さんを対象にします。これらの患者さんに対して施行した超音波内視鏡下肝胃瘻孔形成術(EUS- hepaticogastrostomy : EUS-HGS)が成功した率や偶発症の有無を確認し安全性を評価します。EUS-HGSとは超音波を出すことが出来る内視鏡を用い、胃から肝内胆管を確認しながら、内視鏡先端部から針を出して刺し、胃と肝内胆管を結ぶステントを留置する手技です。評価する項目には、手技の成功率や症状の改善効果、偶発症が挙げられます。

〔研究の方法〕

○対象となる患者さん

2008 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 1 日までの間に、当施設において EUS-HGS を施行した方

○利用する診療情報

診療情報：手技・臨床的成功率、偶発症(術中、術後の出血、膵炎、胆汁性腹膜炎、感染、他臓器損傷)の有無、内視鏡治療を受けた時点での患者さんの背景、年齢、性別

○利用または提供を開始する予定日

倫理委員会承認日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

〔連絡先・相談窓口〕

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院消化器内科 担当医師 藤田直樹

電話 087-891-2156 FAX 087-891-2158